

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年2月21日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	薩摩川内市	代表者名	岩切 秀雄
担当者部署	企画政策部	連絡先電話番号	0996-23-5111
担当者役職		担当者氏名	
住所	895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	升屋 正人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	Society 5.0について、国の動向等をわかりやすい資料で説明していただいた。また、それを実現するためにはインフラの基盤整備が重要であるということ、整備されたとしてもSociety 5.0を実現するためには待っているだけではダメであり、自ら行動を起こし、活用していくことが大事であると聴講者に向けて話された。これは、ICT等の情報通信技術に対してハードルが高いという抵抗感を感じている職員がもっと積極的に考えるきっかけになったと感じ、職員のICTリテラシーの向上につながったと思う。
アドバイザーへの要望事項	大変わかりやすくお話をしていただき、特に要望はありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月5日	10時00分	15時30分	70	260
3-2. 派遣場所	会場名	薩摩川内市役所		最寄駅	川内駅
	所在地	鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	109人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員がICT施策に関して知識もないということで抵抗感があり、現在の地域情報化計画の各施策に関して進捗が思うように進んでいない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市職員幹部及び担当職員のICT施策に関する理解を深めることで、現時点の地域情報化計画の各施策の状況を把握し、今後の計画の進行管理について課題等の検討することで、次期地域情報化計画の策定に関して、各施策の立案がスムーズに行え、着実に取り組めるようにする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	Society 5.0に向けての自治体を取り組むべき姿や、それに必要なインフラはどのようなものかを教えていただいた。無線技術は5Gのサービスが開始される中、いまだ発展途上の技術でもあるが、現在の通信技術を用いても地域課題の解決もできることから、積極的に活用していきつつ、地方創生の成功事例は人に強く依存しているので、ICTを積極的に活用する人や、人材を育てることが大事であると説明を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	Society 5.0への理解が深まったことにより、職員の情報リテラシーの向上につながった。また、地域の課題解決に向けて、ICTの利活用方法等全国の成功事例を教えていただき、地域活性化に向けて、職員が現在の業務における課題解決にICTを活用する手法を学ぶことができた。これにより、現在の地域情報化計画の各施策の進捗を加速させ、積極的に取り組む状況を構築できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	Society 5.0社会の実現のために必要なインフラ基盤整備に、本市は広域合併を実現した結果、未整備地域が拡大し、その地域が広大であるため整備費用が高額になる等財政面について厳しい状況であり、現在の高度無線環境整備推進事業の補助金を活用しても市の負担額が多いのが問題である。また、今回の講演により職員のICTへの理解が深まったものの、政策にどのように反映させていくかが今後の課題である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 職員アンケートを実施した結果、受講者のほとんどがSociety 5.0社会の実現に向けて自治体がどのようにすればいいのかということに関して理解できたと回答している。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	次期地域情報化計画の策定に向けて、市職員幹部及び担当職員のICT施策に関する理解を深めることで、現時点の地域情報化計画の各施策の状況を把握し、Society 5.0社会の実現に向けて取り組む。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年2月21日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	薩摩川内市	代表者名	岩切 秀雄
担当者部署	企画政策部	連絡先電話番号	0996-23-5111
担当者役職	主任	担当者氏名	野元 貞治
		連絡先E-mail	
住所	895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	升屋 正人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなどころがよかったか等詳細に)	1日目と同様にSociety 5.0について、国の動向等をわかりやすい資料で説明していただいた。また、それを実現するためにはインフラの基盤整備が重要であるということ、整備されたとしてもSociety 5.0を実現するためには待っているだけではダメであり、自ら行動を起こし、活用していくことが大事であると聴講者に向けて話された。これは、ICT等の情報通信技術に対してハードルが高いという抵抗感を感じている職員がもっと積極的に考えるきっかけになったと感じ、職員のICTリテラシーの向上につながったと思う。
アドバイザーへの要望事項	大変ありがたい講演会だったので特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月6日	10時00分	15時30分	70	260
3-2. 派遣場所	会場名	薩摩川内市役所		最寄駅	川内駅
	所在地	鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	81人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員がICT施策に関して知識もないということで抵抗感があり、現在の地域情報化計画の各施策に関して進捗が思うように進んでいない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市職員幹部及び担当職員のICT施策に関する理解を深めることで、現時点の地域情報化計画の各施策の状況を把握し、今後の計画の進行管理について課題等の検討することで、次期地域情報化計画の策定に関して、各施策の立案がスムーズに行え、着実に取り組めるようにする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	Society 5.0に向けての自治体を取り組むべき姿や、それに必要なインフラはどのようなものかを教えていただいた。無線技術は5Gのサービスが開始される中、いまだ発展途上の技術でもあるが、現在の通信技術を用いても地域課題の解決もできることから、積極的に活用していきつつ、地方創生の成功事例は人に強く依存しているため、ICTを積極的に活用する人や、人材を育てることが大事であると説明を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	Society 5.0への理解が深まったことにより、職員の情報リテラシーの向上につながった。また、地域の課題解決に向けて、ICTの利活用方法等全国の成功事例を教えていただき、地域活性化に向けて、職員が現在の業務における課題解決にICTを活用する手法を学ぶことができた。これにより、現在の地域情報化計画の各施策の進捗を加速させ、積極的に取り組む状況を構築できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> 途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	Society 5.0社会の実現のために必要なインフラ基盤整備に、本市は広域合併を実現した結果、未整備地域が拡大し、その地域が広大であるため整備費用が高額になる等財政面について厳しい状況であり、現在の高度無線環境整備推進事業の補助金を活用しても市の負担額が多いのが問題である。また、今回の講演により職員のICTへの理解が深まったものの、政策にどのように反映させていくかが今後の課題である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 職員アンケートを実施した結果、受講者のほとんどがSociety 5.0社会の実現に向けて自治体がどのようにすればいいのかということに関して理解できたと回答している。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> 次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	次期地域情報化計画の策定に向けて、市職員幹部及び担当職員のICT施策に関する理解を深めることで、現時点の地域情報化計画の各施策の状況を把握し、Society 5.0社会の実現に向けて取り組む。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

